

「日々の理科」(第 4426 号) 2026, -9, 22

「秋の北極圏旅行記 (8)」

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所

田中 千尋 Chihiro Tanaka



トイレ休憩に寄ったのはキャンプ場だったのですが、トイレ利用料一人 50 クローネ (約 800 円) という、とんだボッタクリトイレでした！



道はアルビズヤウルへ。これは郡庁舎です。この町は、かつて夏に列車で来たことがあります。



トナカイは非常に多く、道にも歩いています。これは車と一緒に走ってしまう「お尻トナカイ」



ノルシェーコミューンの郡庁舎です。いよいよ友人宅が近づいてきました！



ついに到着！8年ぶりの友人との再会です！右がラーシュ (ラッセ)、左がパトリシアです。



ラーシュの趣味は「ピン集め」地元では「ピンズマンネン (ピンの男)」と呼ばれる、ちょっとした有名人です。世界中のピンを見ることができます。



ラーシュの職場です。いいですね。これなら仕事がはかどります。見習いたいと思いました。



昼食会の準備完了！私はこの家に泊めてもらったこともあるので、このダイニングがとても懐かしかったです。



パトリシアのキッチン。今回は我々5人のために、昼食に腕をふるってくれました！！ポルユスに住んでいたころから、名コックでした。



乾杯は、もちろん私の好きな「ポマック」いつも必ず用意してくれるのです！



もともと自然写真家だったパトリシアは、おびただしい数のカメラを持っています。自宅の一室が「カメラ博物館」になっています。パトリシアはオーロラ写真集も出版し、講演のために来日したこともあります。



この日のメニューは、トナカイの肉料理。キノコソース、マッシュポテト添え。非常にスウェンスカな料理です。赤い実はリンゴンベリーで、パトリシアが自分で摘んでくれました。